

## 令和5年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立矢口中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・すべての学年において、問題演習の時間を多く確保し基礎知識の定着を図ることができた。
- ・習熟度別少人数授業を活用し、基礎的な問題の正答率を高めることができた。

#### (2) 課題

- ・すべての学年において「知識・技能」のポイントが高く、それに比べると「思考・判断・表現」観点のポイントはやや低い。「思考・判断・表現」の力を伸ばす必要がある。
- ・考えを分かりやすく伝える練習が必要である。話し合い活動を増やすことで、伝える力を育ませ、生徒の数学的表現力を養うことが必要である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	ほとんどの領域で目標値と同じくらいの結果であった。特に、「小数・分数の計算」「面積と体積」に課題がある。	/	/
第2学年	すべての領域で目標値を上回る結果であった。「空間図形」に課題がある。	すべての領域で目標値を上回る結果であった。「小数・分数の計算」に課題がある。 (第1学年時)	/
第3学年	すべての領域で目標値を上回る結果だった。「連立方程式の利用」に課題がある。	すべての領域で目標値を上回る結果だった。「絶対値」「階級の幅」に課題がある。 (第2学年時)	すべての領域で目標値を上回る結果だった。「数と計算」領域に課題がある。 (第1学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区平均、ともにやや上回っている。計算のミスに気を付けることが課題である。	目標値、区平均ともに下回っている。「平均・場合の数」「比と比例・反比例」に課題がある。	目標値、区平均ともに上回っている。授業で積極的に発言する姿勢が見られる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区平均ともに上回っている。1次方程式の計算に課題がある。	目標値、区平均ともに上回っている。回転体の見取図の読み取りに課題がある。	目標値、区平均ともに上回っている。すべての問題で目標値を上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区平均、ともに上回っている。基礎的な問題の正答率は高い。	目標値、区平均、ともに上回っている。活用の問題に課題がある。	目標値、区平均、ともに上回っているが、他の観点に比べるとポイントが低い。学習の取り組み方の振り返りに工夫が必要。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識・技能ともに達成値が高めである。今後も基礎・基本の課題を増やして知識の定着を行う。	思考・判断・表現においては他の観点よりも課題がある。応用問題を増やし、基礎事項とのつながりを考えさせる。	授業態度は良好である。提出物に関しては、定期考査や単元テストの振り返りの取り組み方を工夫するよう指導していく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方程式の領域では1次方程式の復習をしっかり行った上で単元内容に入っていくようにする。また折に触れて復習を取り入れていく。	図形の領域では回転体、展開図、見取図での様々な図形の見方を大切に授業を進めていく。	数学を日常生活に活かす工夫、どのように公式を導き出しているのかを思考することを大切に指導していく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
この観点は達成値が高く、定着している。特に基礎的な内容の達成値が高い。今後も継続した指導をおこなう。	目標値は上回っているものの「連立方程式の読み取り」等、個々の問題に課題があるため、復習を行う。	1週間の授業についての振り返り・単元テストや定期考査の振り返り等を通して、学習の取り組み方を工夫するように指導する。